

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1072100447		
法人名	社会福祉法人 恵林		
事業所名	グループホーム リすの国		
所在地	群馬県高崎市井出町1280-3		
自己評価作成日	令和2年8月	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県高崎市八千代町三丁目9番8号		
訪問調査日	令和2年8月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様一人ひとりのペース、生活スタイルに合わせた生活環境を提供しています。 ・入居者様だけではなく、ご家族様に対しても悩みや相談にのるなどの支援を行ない、信頼関係が築けるようにコミュニケーションを取るように心掛けています。また、入居者様、ご家族様が話しやすい雰囲気を作るようにしています。 ・入居者様に、様々な手伝いをして頂き、必要とされる喜びを感じて頂けるように支援しています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>レクリエーションの際、利用者に対して「どうしますか。」と参加するかどうかを尋ねたり、口腔ケアの際も穏やかに声かけをし、これから何をするのか、その説明をすると利用者は職員に「ありがとう。」と答えている。そういった日常生活における言葉のやり取りから、職員が自己決定、自己選択の機会と利用者がプライドを持って、気持ち良く暮らせる生活環境を提供していることがうかがえる。また、主治医の選択についても、家族の付き添いで入居前からのかかりつけ医に受診し続けることが、利用者、家族の安心につながるとし、これまでの医療機関や家族との関係性の継続を支援している。そして、「美味しく食べてもらいたい。」という思いで手作りする食事は、家庭の味で、盛り付けの色どりもよい。食事への満足感を利用者の幸せ感につなげるサービスの提供に、職員の努力がうかがえる。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2. 利用者の2/3くらい			<input type="radio"/>	2. 家族の2/3くらい
			3. 利用者の1/3くらい			<input type="radio"/>	3. 家族の1/3くらい
			4. ほとんど掴んでいない			<input type="radio"/>	4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある			<input type="radio"/>	2. 数日に1回程度
			3. たまにある			<input type="radio"/>	3. たまに
			4. ほとんどない			<input type="radio"/>	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			<input type="radio"/>	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが			<input type="radio"/>	3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない			<input type="radio"/>	4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが			<input type="radio"/>	2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			<input type="radio"/>	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない			<input type="radio"/>	4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2. 利用者の2/3くらいが			<input type="radio"/>	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			<input type="radio"/>	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない			<input type="radio"/>	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが			<input type="radio"/>	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			<input type="radio"/>	3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない			<input type="radio"/>	4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が			<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが			<input type="radio"/>	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			<input type="radio"/>	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない			<input type="radio"/>	4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・法人理念の他に『地域に開かれ、地域に根ざすホーム』という事業所独自のリネンを設け、実践に向けて努力している。会議等の場で、話し合いの場を設けている。	グループホーム独自の理念を掲げ、新入職員には利用者の話をよく聞き、理念に沿ったケアをするよう指導している。現任者とはそれぞれの利用者に向けた個別性のあるケアの実践を共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・コロナウイルスが広がる前は、毎月第三水曜日に、地域ふれあいサロンに利用者様1人、職員1人で参加していた。 ・毎日近隣のスーパーに買い物に行っている。 ・毎年『えりん祭』を実施、近隣の方にも来ていただいている。	地域のふれあいサロンには、他の参加者に溶け込める利用者が参加している。毎日買い物に出かけることで近所の人と繋がりをもち、交流する機会を作っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域ふれあいサロンに参加し、事業所の広報誌を配布させてもらっている。 ・運営推進会議時に、認知症の方の事例などを話している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議時に参加者全員が発言する機会を設け、意見交換を行ない、第三者の意見を参考にサービス向上に努めている。 ・写真を活用し、当事業所の様子を報告している。	隔月で家族、民生委員、行政等の出席により開催し、利用者の状況や避難訓練、ふれあいサロン等の活動報告、今後の予定について質疑応答を行い、第三者の意見をサービス向上に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・運営推進会議時に質問したり、要望を伝えたり、また、電話し質問等をしている。	市への報告や相談は主に管理者が担当し、連携を図っている。また、ケアマネジャーは介護保険の申請代行や認定調査の立会いをしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束については全廃している。 ・日中(8:00~20:00)、事業所の出入口は開錠している。居室の出入口の鍵については、職員から施錠することはない。	玄関は開錠している。身体拘束について3ヶ月ごとに勉強会を開き、全体会議でもテーマを決めDVDを用いて研修を行っている。スピーチロックについては場面に合った言葉の統一を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・コロナの影響を受ける前は『虐待防止』の研修に参加していた。現在は、事業所独自の虐待防止マニュアルを作成中である。 ・日々の業務の中で疑わしいことがあれば、上司に報告するように伝えている。『見て見ぬふり』も虐待の一つであることを伝えている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・現在、後見人制度を利用されている方が1名いる。また、キーパーソンが恒例の方には状況に応じた対応を行なっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・施設見学(入居契約前)の時点で契約の内容を説明し、納得して頂いた上で入居申し込みをして頂いている。 ・改定の際は、キーパーソンに直接説明をし、承諾を頂いている。 ・不安な点や、疑問点は随時間いていただくように説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議にご家族様に参加して頂き、意見を伺うようにしている。 ・全体会議の場で、ご家族様の意見を話すようにしている。	家族からの意見や要望は普段から気軽に声をかけて聞くように努めている。何でも遠慮なく話してもらえる雰囲気作りを心がけ、利用者には「どうしますか。」と気持ちに寄り添う対応をしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・現場の職員の意見を管理者が聞き、その意見を法人の運営会議の場で発言し、施設長や管理課に伝えるようにしている。 ・全体会議では、職員に自由に発言してもらい、管理者が聞くようにしている。	職員とはよく話をしている。意見や提案の内容によっては管理者の判断で採用したり、施設長に報告している。全員が出席する全体会議では事前に伝えた議題について、意見交換を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・毎年、職員から意見を聞くために『自己申告書』を配布している。細かい内容については、上層部が確認するが、内容によっては、管理者に伝えられ、対応している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人内外の研修に積極的に参加するよう言われている。 ・代表者は随時管理者と話し、職員の様子を把握している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・2年ほど前、外国人労働者受け入れに関する件で他の施設に見学に行かせてもらった。 ・管理課の方ではネットワークがあるようだが、現場の人間が相互訪問等は業務的に厳しいと思われる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居される前に面接へ行き、情報を収集。本人に話を聞くのはもちろんのこと、ご家族様や関係者の方からも情報を収集し、それをもとに関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族様との会話の中で聞き出す努力をし、そのうえで、共感、同調し、アドバイス出来る事があればさせて頂き、関係づくりに努めている。 ・1年に1回、ご家族様に参加して頂くサービス担当者会議の場で、悩みや不安を聞くように心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・グループホームで可能なサービス等を説明し、対応できない事柄については、他のサービスの説明を行ない選択して頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・利用者様本人に出来ることはなるべく実施して頂いている。清拭たたみや食器拭き、洗濯物たたみなどの役割を持って頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・グループホームで出来ることは限られており、ご家族様とグループホームと一緒に本人が支えていかなければならないことを伝えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご家族様にも協力を頂き、自宅へ行く時間を設けたり、外出の機会を設けている。 ・知人の面会等を自由にして頂いている(コロナ前)	洋服作りをしていた利用者針と糸を用意し、補修やお直しの縫物をお願いしたり、食事の下ごしらえや食器拭き等、今までしてきたことが入居によって途切れることなく継続するよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・食堂席の配置は、利用者様同士の関係性を考慮している。 ・他利用者様と関わりを持つことが困難な方は、職員が意識して関わりを持つように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・必要があれば、相談にのるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・入居時に、ご本人やご家族様から生活歴等の聞き取りを行ない、その方に合わせた生活支援を出来るように努めている。	利用者の思いや意向は直接聞いて把握するよう努めている。話せない利用者の場合は、担当職員が家族に電話をかけたり、モニタリングの報告の際に意向や要望を聞き、把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・NO.23同様、生活歴の聞き取りを行なっている。 ・在宅等から入居される方には、それまでの担当ケアマネにも話を伺うようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・ケアマネと担当職員が、月1回のモニタリングを利用、さらに他の職員を交え、毎月の全体会議で話し合い、現状把握等に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・毎月のモニタリング、全体会議での話し合い、必要に応じて介護計画の作成、変更している。	モニタリング確認票があり、各担当者が毎月10日までに作成し、全体会議の中のカンファレンスで話し合い共有している。介護計画の見直しは3ヶ月に1度、変化が見られた場合は随時行っている。	利用者、家族の希望を具体的に盛り込んで作成し、実践につなげてはいかがか。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・有事の際には随時記録に残し、それ以外は各担当職員が半月に1度、介護計画に沿って記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・個々に合わせた柔軟なサービスを提供出来るように努めている。 ・食事の時間が前後したり、ベッドではなく床対応を行なったりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・毎日、近隣のスーパーに買い物に行っている(コロナ以前は利用者様と一緒に買い物に行っていた)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居前から利用されている病院をかかりつけ医としている。基本、受診はご家族様をお願いしているが、必要に応じて状況等を手紙等で医師に報告している。 ・入居者様の状況に応じて、皮膚科と歯科医は往診の利用をしている。	これまでのかかりつけ医を継続する方が利用者、家族の安心につながるとし、入居後も家族が付き添って受診している。希望する救急医も確認し、必要に応じて専門医や訪問歯科の往診もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・法人内の看護職に、日々指導を仰ぎ、受診等の判断に活かせるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院の際には、情報提供書の提出。入院中は、状況に応じて、医師や看護師から現状等の確認、また、ソーシャルワーカーとも相談を行なう。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・ご家族様と状態をみながら話し合いを行なっている。当事業所で出来ることを説明、本人に苦勞がないように努めている。	重度化、終末期の指針はない。重要事項には看取りはしていないと明記しているが、希望はあるので今後はかかりつけ医の協力を得て、看取り支援ができるよう検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・法人内防災委員を中心に応急手当や心肺蘇生法の訓練を実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年2回の総合防災訓練(通報、避難)を実施。内1回は消防立ち合いのもと実施している。 ・誘導訓練を毎月は行なえていないが、避難経路の確認や方法等の確認をしている。	年2回の総合防災訓練を実施している。また、緊急連絡網の継送訓練も行っている。隣接施設とは緊急時における協力体制を築き、防災委員会を中心に法人が3日分の非常食を備蓄している。	今後も避難経路等のシミュレーションを続けるとともに、自主訓練の回数を重ね、非常時に備える取り組みをしてほしい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・利用者様によって、声掛けの内容や雰囲気を変え、その方に合わせるように努めている。	利用者の呼び方や職員の声かけ、言い方に利用者は遠慮なくクレームを言える関係性がある。異性介助になる場合はその都度確認し、利用者の気持ちに沿った対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・各担当職員が責任をもち、モニタリングや会議内で話し合い、ケアプランや日々の支援に反映出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・事業所の一日の流れはおおまかなもの(食事のじかんや飲茶の時間等)のみ設定し、他は個人に合わせた時間を過ごしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・自己にて選べる方は、任せている。その中で、不都合等あれば職員がサポートしている。 ・自己にて困難な方は、職員がその方らしいものを選ばせて頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・毎食準備から片付けまで、その方の残存機能を考慮した手伝いを行なって頂いている。 ・咀嚼機能が低下している方には、一口大に小さくしたり、ミキサーで細かくするなどの対応をしている。	職員が献立を考え、食材を購入し、手作りの食事を提供している。ミキサー食や刻み食の場合は食材を説明し、利用者と職員と一緒に食事を楽しんでいる。飲み物も選択できる工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事量、水分量はその都度チェックし、確認している。 ・飲茶時には、その方の好みに合わお茶、コーヒー、紅茶、ココア、ジュース、乳飲料などを用意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後、支援している。 ・義歯を使用している方は、毎食夕食後に洗浄剤にて消毒している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ後チェックし、その方の排泄パターン、汚染状況などを把握するように努めている。 ・ご家族様と相談し、その方の一番合っている紙パンツやパットの使用を心掛けている。 	タブレット画面でチェック表を確認し、トイレでの排泄を支援しているが、利用者の希望で夜間はおむつを使用する場合もある。パットの変更は職員が判断し、家族に説明、承諾を得て対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・軽運動(主に歩行運動)の促し、乳製品(主に牛乳、ピルクル、ヨーグルト)の提供、薬茶(センナ茶)の提供を行なっている。 ・医療と連携し、下剤や整腸剤の処方をお願いしている。 		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・準備から入浴後の誘導までマンツーマン対応しており、その方のペースに合わせて対応している。 ・一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴が出来ているとは言えない、今後の課題と思われる。 	入浴は利用者の希望を重視し、職員が付き添って入浴の用意をしている。職員の勤務状況によって入浴の実施に影響をきたすこともあるが、足浴、全身清拭、シャワー浴等に対応している。	連日であっても入浴ができるという情報提供をしてほしい。拒否が続く利用者には入浴を課題とし、介護計画に盛り込み、支援に取り組んでみてはどうか。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様によっては午睡の時間を設けている。 ・夜間帯に良く休めるように、日中の過ごし方に気を使っている。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・処方箋やピルブックを利用し、内服薬の効用、副作用、用法、用量の理解に努めている。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・家事や読書、買い物など一人ひとりの希望に沿った役割や趣味などを提供している。 ・本人からの希望があれば、本人の小遣いでお菓子や果物を購入する方もいらっしゃる。 		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(コロナウイルス感染前は・・・) <ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあいサロンに参加している。 ・買い物に同行して下さる入居者様を、日によって換え、多くの方が外出出来るように考慮している。 ・ご家族様にも協力して頂き、外出の機会を作るようにしている。 	デッキに出たり、プランターの植物に水やりをしている。また、職員とゴミ捨て場まで歩いて行くこともあり、畑に興味がある利用者は一緒に苗植えをする等、日常的に屋外に行く機会を作っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・紛失の危険を考え、お金(小遣い)は職員管理としている。ご家族様の許可、本人の希望にて小遣いを使用している。 ・ご家族様の許可があった際は、本人が持っている方もいるが、小銭程度とさせて頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・本人の希望、ご家族様の許可を得て、電話対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・一人ひとりの様子を見ながら、少しでも快適に生活できるように注意をしている。	共用空間にはテーブルが5卓、廊下には多くの椅子が配置され、利用者同士が好きな所で話ができるよう工夫されている。掃き出し窓からデッキが続き、自然が間近に感じられる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・廊下に椅子やソファを置き誰でも使用出来るようにしている。また、職員室を常に開放しており、テレビを観たりして過ごして頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室は、危険がない限り、入居者様、ご家族様の自由に使用して頂いている。 ・ベッド、タンスは用意してあるが、入居者様やご家族様の希望で好きなものを使用させて頂いている。	見学時から「馴染みの物を何でも持って来てください。」と説明している。居室の臭いには換気を心がけ、掃除や片付けも職員、利用者が行い、清潔で居心地良く過ごせる居室作りを支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・バリアフリーと手すりの取り付け、居室やトイレが分からない方には貼り紙等をしている。		